



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

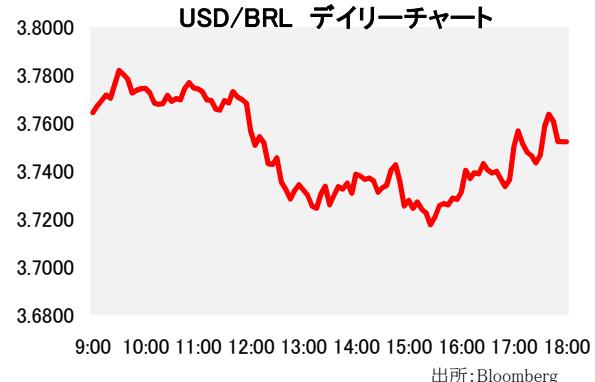
1. マーケット・レート

			12月3日	12月4日	12月7日	12月8日	12月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7590	3.7520	3.7680	3.7960	3.7520	-0.0440
	BRL/JPY	Spot	32.54	32.83	32.72	32.40	32.33	-0.07
	EUR/USD	Spot	1.0977	1.0870	1.0847	1.0889	1.1025	+0.0136
	USD/JPY	Spot	122.30	123.21	123.32	123.04	121.24	-1.80
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	15.034 15.717	15.014 15.670	15.013 15.696	14.968 15.718	14.957 15.704	-0.012 -0.014
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.957 3.985	3.002 3.974	3.084 4.091	3.258 4.202	3.337 4.272	+0.079 +0.070
株式	Bovespa指数		46,393	45,361	45,223	44,443	46,108	1,665
CDS	CDS Brazil 5y		450.28	448.88	454.17	463.77	460.05	-3.72
商品	CRB指数		183.304		178.568	177.393	177.560	+0.17

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

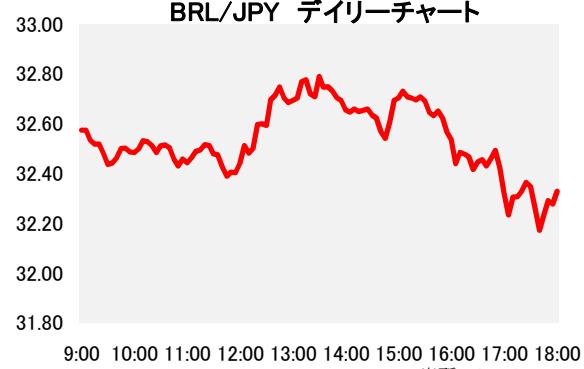
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IBGEインフレIPCA(前月比)	0.95%	1.01%	0.82%
IBGEインフレ率IPCA(前年比)	10.42%	10.48%	9.93%
(米)MBA住宅ローン申請指標	--	1.2%	-0.2%
(米)卸売在庫(前月比)	0.2%	-0.1%	0.2%



3. 要人コメント

レビィ伯財務相	補助金に関しては透明性と議論が必要である。政府は補助金を減らす必要がある。
---------	---------------------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは高値となる3.8180で寄り付いた。海外市場で原油先物価格が底堅く推移したことから、ボベスパ先物指数が上昇して寄り付くと、レアルはオープン直後から買いが優勢となり3.75台まで急上昇した。株式市場がオープンすると銀行株主導でボベスパ指数が上昇し、レアルも続伸した。中銀仲値公表に向けてレアル買いが強く、レアルは3.7170まで堅調に推移した。この水準では短期筋の利食いも出てレアルは反落し、引けにかけてムーディーズがブラジルの格付けをジャンク債に引き下げる検討していると発表したこともあり、結局3.7520でクローズした。
- 米週間石油在庫統計において原油在庫が11週間ぶりの大幅減少に転じたことを受けて、原油先物価格は一時反発した。WTI先物1月限は一時37ドル台から39ドルまで急反発したが、高値からは売りが被り36ドル台半ばまで急反落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。